

平成28年度専門家派遣事例

支援課題：経営革新

平成29年2月

目次

都道府県	支援元機関名		ページ
	企業名	支援テーマ	
秋田県	秋田県よろず支援拠点		1
	農事組合法人 立花ファーム	餅菓子製造工程における衛生管理支援	
福岡県	北九州地区中小企業支援プラットフォーム / 北九州商工会議所		2
	セレーノ 株式会社	従業員の目標管理意識の定着化による生産性向上支援	
鹿児島県	中小企業地域プラットフォームかごしま / 公益財団法人かごしま産業支援センター		3
	有限会社 船津ソーイング	縫製工場の設備配置等見直しによる生産性向上支援	

支援体制

専門家

木村 まゆみ 氏

支援

企業

農事組合法人 立花ファーム

支援拠点

支援依頼

秋田県よろず支援拠点

相談

業種：農業、林業

従業員：48人

出資金：340万円

創業：平成12年2月14日

住所：秋田県大館市立花字塚ノ下40-3

企業概要：米、大豆、ネギ栽培、餅の製造販売

支援概要

支援の経緯

本企業は、秋田県大館市立花地域の農家42戸、48人の組合員で構成された特定農業生産法人である。米などを生産する傍ら、農産物を使った加工品の販売を行って来た。主力商品の一つが餅だが、4年ほど前にブラックベリーの栽培を手がけ、今年から新たにブラックベリーを使った餅菓子の製造を始めたが、品質の安定に課題があったため、品質改善に向けた取り組みについて当拠点に相談があった。

派遣元機関による経営課題の特定とアプローチ

当拠点Coがヒアリングを行ったところ、本企業は餅菓子製造工程における衛生管理知識に乏しく、製造工程マニュアルが作成されていない等、衛生管理の徹底が図れていないことが判明した。そこで、食品メーカーで20年近く品質管理を行った経歴を持つ6次産業化プランナーで、農業者や食品企業の品質改善支援に多くの実績を有する本専門家に依頼した。

専門家による具体的な支援内容

はじめに、工場を訪問して作業工程を確認したところ、衛生的に製造しようという行動が多くみられるものの、製造清掃等の実施記録がされていなかった。そこで、製造工程表は基準どおりに製造するためのマニュアルであると共に、正しく作ったことの証明として何か問題が起きた場合の確認資料になることを説明し、その作成方法についてアドバイスした。

また、商品の品質向上について、温度・湿度などの製造環境や手指・器具の消毒、原材料の賞味期限管理、脱酸素剤の適切な使用方法など、危害分析を行って、製造上、気を付けなければならないことを抽出し、作業員に周知徹底するよう指導した。

製造工程の確認



作成した製造工程表

成果

支援により、サンプルの製造工程記録表を自社の工程に合わせてカスタマイズしたことで、作業者が記録しやすいフォーマットが完成して、作業工程に活用できるようになった。また、指導していただいた内容をもとに作業者に衛生教育を行ったことで、安全でおいしい食品をつくるためには衛生管理を重視した製造をすること、原材料の先入れ先出しなど、マニュアルを守って製造することの重要性を全員が認識するようになった。危害分析で抽出された、品質に問題が生じる可能性がある部分に、より注意しながら製造することで、安定した商品が製造できるようになった。



専門家の声

氏名：木村 まゆみ
保有資格：管理栄養士・秋田県
6次産業化プランナー
専門分野：衛生管理・商品開発
6次産業化支援

専門家の声：安心安全な食品をつくるためには、企業規模にかかわらず、責任を持って製造しなければならないということを伝えていきたい



事業者の声

食品製造における衛生管理知識に乏しく、明確な衛生管理マニュアルを持たず餅菓子の製造を行って来ましたが、木村先生を紹介してもらい、自社の基本的な餅菓子製造工程の衛生管理マニュアルを作成することができました。これまでは自社の農産物を使用した餅菓子の美味しさには自信を持って販売しておりましたが、これからは安定した品質にも自信をもってお客様にお届けすることができます。熱心なご指導を頂き、ありがとうございました。

専門家プロフィールURL (プロフィールをご覧いただくにはミラサポへのログインが必要です。)

<https://specialist.mirasapo.jp/consul/pro/003100000fGzVgAAK>

支援体制

専門家

村田 信敏 氏

支援

企業

セレーノ 株式会社

支援依頼

地域

北九州地区中小企業支援
プラットフォーム

相談

機関

北九州商工会議所

業種: サービス業
従業員: 14人
資本金: 800万円
創業: 平成25年2月6日
住所: 北九州市小倉北区鍛冶町1-9-5-3F
企業概要: 美容室セレーノ店舗

支援概要

支援の経緯

本企業は北九州市内に美容室を2店舗経営している。創業4年目で、経営理念や中長期の経営計画は明確である一方、目標管理等会社組織として必要な制度がまだ整えられておらず、それゆえに従業員の生産性が上がらない状態であった。昨年、当機関がサービス産業生産性向上支援を行ったが、5S作業や目標管理等やり残した課題があったことから、それらを実行するために再度当機関に相談があった。

派遣元機関による経営課題の特定とアプローチ

昨年実施したサービス産業生産性向上支援後の取組についてヒアリングしたところ、会社組織のビジョン、従業員個人の目標(やりがい)、経済的要素を総合的に管理する目標管理の制度を構築し、毎月目標管理シートを従業員ごとに作成した上で、結果を従業員同士で検証するようにしているが、従業員の目標管理意識が定着せず、制度が十分に機能していないことが判明した。そこで、製造業及びサービス業における生産性向上支援の実績が豊富な本専門家に依頼した。

専門家による具体的な支援内容

まずは、中長期計画を確認し、スタッフの採用及び教育を達成するために計画に基づくPDCAサイクルの設定についてアドバイスを行った。

次に、従業員に対し、生産性向上は、従業員のワークライフバランスの向上と労働条件の改善に繋がることを説明し目標設定への動機付けを与えた。

あわせて、従業員の生産性向上には多店舗展開も有効であることをランチェスター戦略やドミナント戦略の考えをもとに説明した。



(専門家による支援の様子)

成果

従業員に対し、目標管理への動機付けを与えたことから目標管理意識が定着することとなった。また、本企業の経営理念である「より多くのお客様に満足を！より多くのスタッフに幸せを！」を実現するために、従業員の労働条件を改善することとし、店舗の営業時間を17時までに短縮するとともに、社会保険への加入等労働条件を整備した。あわせて、ドミナント戦略等を踏まえて多店舗経営を実行し、北九州市内で店舗数を2店舗から4店舗にした結果、効率よく顧客を獲得できるようになり、目標管理とあわせて従業員の生産性を向上させ、一人あたり人時生産性3,000円/時を達成することができた。

専門家の声

氏名: 村田 信敏

保有資格: 中小企業診断士

専門分野: 経営改革、現場改善

専門家の声: 現場のスタッフとゲストの声を尊重し、経営改善の定石を出来るだけ現場目線で、スタッフが理解でき、行動できるような改善支援を心掛けた。



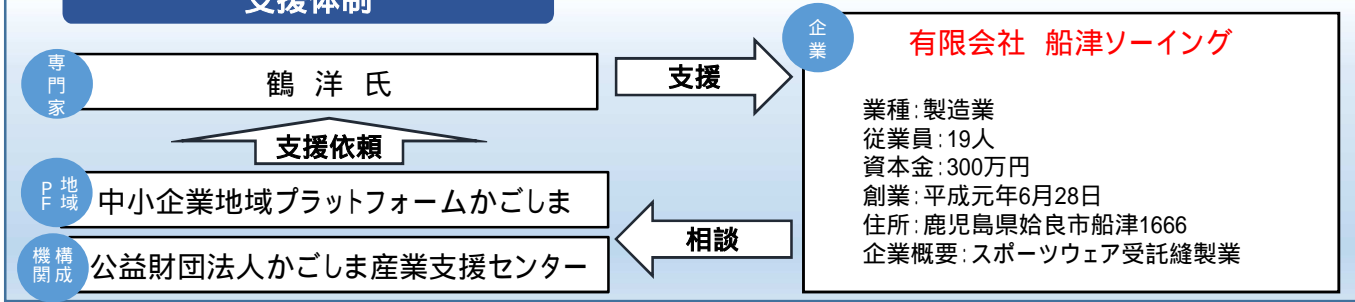
事業者の声

村田先生をご紹介して頂き、定石(原理原則)は基より、経営者としての姿勢もご指導いただき感謝しております。社内メンバーだけでの意思決定では「井の中の蛙」状態でしたが、外部目線での視点により、それを経営判断や仕組みの構築に活かし、全社員へ共有する事ができました。仕事をする上での物事の考え方、姿勢など多様に素晴らしいご支援ありがとうございました。

専門家プロフィールURL (プロフィールをご覧いただくにはミラサポへのログインが必要です。)

<https://specialist.mirasapo.jp/consul/pro/003100000RximNAAR>

支援体制



支援概要

支援の経緯

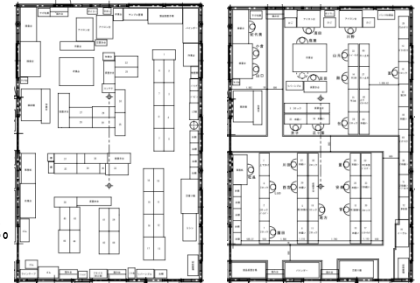
本企業は、鹿児島県始良市で大手スポーツメーカー等の受託縫製加工を行っており、オリンピックで着用するユニフォームの製造実績もある企業である。しかし、主要な発注企業が生産拠点を海外に移転したことにより、年間を通して受注量が安定しなくなったことに加え、主要な発注企業1社への依存度が高いといった課題を抱えていた。そのため、近年は自社ブランドである「着る御守」を立ち上げ、売上確保と主要な発注企業への依存度の軽減に努めているが、このようななか、取引先の拡大に向けて、工場管理業務と生産性の効率化を図ろうと当機関に相談があった。

派遣元機関による経営課題の特定とアプローチ

本企業へヒアリングを行うと、工場の管理業務のほとんどが工場長(現経営者)に集中しており、業務負荷が非常に高くなっているがゆえに工場管理以外の業務に注力できない状態であることがわかった。そこで、まずは現場改善を行い生産性を向上させることで、工場長の業務負荷の軽減につながると判断し、現場改善や生産管理の支援実績が豊富な本専門家に依頼した。

専門家による具体的な支援内容

まず、製造の基礎力となる5S(整理、整頓、清掃、清潔、躰)について工場長に説明し、次に、「物と情報の流れ図」と「設備配置図」を作成し、現在の工場の状況を把握した。その後、これらのデータをもとに、実際の物の移動経路をトレースしたところ、非常に複雑で入り組んでおり、経路が長いという問題があることがわかった。そこで、同じような機能を持つ生産設備をグループ化し、主要製品の工程順に生産設備を並べるよう配置変更の提案を行い、実施してもらった。



(改善前) 設備配置図

(改善後)

成果

設備の配置変更を行ったことで、これまで幅が狭く気を使いながら通っていた通路を広くすることができ、製品の運搬が非常にスムーズになった。運搬距離が短縮されたことで運搬にかかる時間が少なくなり、生産性の向上につながった。それにより、工場長の業務負荷が軽減され、自社ブランドの売上拡大等の他業務に注力できるようになった。

また、設備配置を変更した際にあちこちに点在していた仕掛品置場を減らしたことで、小ロット生産が可能となった。今後は小ロット生産による短納期化を図り、より一層の生産性向上に取り組んでいく予定。

専門家の声

氏名: 鶴洋
保有資格: なし
専門分野: 現場改善・生産管理
専門家の声:

工場長の改善意欲が高く、意見を素直に受け入れ実行に移されたことが改善を大きく推進させ、スムーズな改善活動ができた。



事業者の声

本支援の前に、『トヨタ生産方式』を独学で学んでいました。また、会社の運営に何が必要か、何が問題かを理解したつもりでした。しかし、今回の支援を受け『トヨタ生産方式』の前に、工場の運営方法・5Sの徹底など必要な状況が確立していないことなど、間違った解釈に気づきました。

ルーチンワークなど、日々の業務に追われている中小の経営者が、もっと良い会社にするのに必要な考え方が、『トヨタ生産方式』には詰まっていると思います。

最後に、このような機会を与えていただいた支援機関・専門家に逢えたことに、感謝します。

専門家プロフィールURL (プロフィールをご覧いただくにはミラサポへのログインが必要です。)

<https://specialist.mirasapo.jp/consul/pro/003100000RxiZ3AAJ>

平成28年度専門家派遣事例